

総務部/経済産業部

「下請法」は、公正な下請取引を守ります！ ～下請取引適正化特別推進講習会を開催～

Somubu

Keizaisangyo

親事業者（発注者）から下請事業者（受注者）へと発注されているさまざまな委託業務。このような下請取引では、仕事を委託する側の親事業者は、下請事業者よりも優位な立場にあると考えられます。このため、親事業者の一時的な都合によって、下請代金の支払いが遅れてしまったり、代金を不当に引き下げられたり、下請事業者が不利な扱いを受けている場合が少なくありません。



そこで、下請取引の公正化を図り、下請事業者の利益を保護するため、独占禁止法の特別法として制定されたのが「下請法（正式名称：下請代金支払遅延等防止法）」です。製造業からサービス業まで、幅広い分野において適用対象となる取引を明確に示すとともに、親事業者の禁止行為なども具体的に定めています。もし、違反が認められた場合には、簡易な手続で迅速に改善を求め、下請事業者を守ることができる仕組みになっています。

沖縄総合事務局では、去る6月19日に那覇第2地方合同庁舎1号館大会議室において、下請取引の適正化を一層推進するため、親事業者の下請取引担当者等を対象に、総務部公正取引室と経済産業部中小企業課による下請取引適正化特別推進講習会を開催し、下請法及び下請中小企

業振興法等の趣旨・内容の説明や、下請かけこみ寺事業、ビジネス・マッチング・ステーションの紹介を行いました。

なお当局では、下請法に関するご相談やご質問を受け付けています。また、下請かけこみ寺（県内では（財）沖縄県産業振興公社内に設置）においても相談員を設置し、下請取引などの企業間取引に関する相談に応じています。

○相談窓口

内閣府沖縄総合事務局

総務部公正取引室（TEL098-866-0049）

経済産業部中小企業課（TEL098-866-1755）

（財）沖縄県産業振興公社

下請かけこみ寺（TEL098-859-6237）

経済産業部

「平成21年度中小企業者に関する国等の契約の方針」が決定されました ～平成21年度官公需確保対策地方推進協議会を開催～

Keizaisangyo

政府では、中小企業者の受注機会の増大を図るため、去る6月12日に「平成21年度中小企業者に関する国等の契約の方針」を閣議決定しました。

現下の厳しい経済情勢の中、経済収縮の悪影響を受けやすい中小企業者の受注機会を確保することは重要であることから、去る4月10日に決定された「経済危機対策」において官公需対策が盛り込まれ、6月2日に開催された「緊急雇用・経済対策実施本部会合」においても内閣総理大臣から「地域の雇用確保や地域経済の発展のためには、地元企業や中小企業の受注機会の確保の視点が重要であり、各大臣においては、予算執行に当たって、地域の中小企業の活用について、各発注機関に周知徹底を図り、しっかりと取り組むこと」との指示が出されました。

こうした動きを踏まえ、平成21年度の契



約の方針においては、本年度における国の機関や独立行政法人等の中小企業者向け契約目標額を、昨年度契約実績額から1兆円以上増加の約5兆2千億円としており、この目標達成に向けて、地域の中小企業者の適切な評価や「官公需情報ポータルサイト」の構築などの新たな措置が盛り込まれております。

また、経済産業大臣より都道府県知事に對し、国に準じた施策及び市町村に対する周知等を要請するとともに、当局においても7月17日に国等の地方支分部局及び地方公共団体の契約担当者等を対象として、本方針の周知等を目的とした官公需確保対策地方推進協議会を開催しました。

財務部 読谷村功労表彰を受賞

Zaimubu



受賞者記念撮影

8月5日に財務部が読谷村功労表彰（産業・経済部門）を受賞し、金子秀喜財務部長に表彰状が授与されました。式典には、財務省理財局山岸晃国有財産審理室長も出席しました。

受賞理由は、歴代財務部職員が関係機関との連携を密にし、読谷補助飛行場の跡地利用実施計画の策定、国有財産沖縄地方審議会の答申に基づく国有地と村有地の等価交換などで尽力した結果について、

評価されたものです。

米軍より返還された国有地が、現在では村有地となり、那覇新都心地区に匹敵する広大な土地で、役場庁舎やスポーツ施設、農業施設、村道中央残波線などを中心に、豊かな田園都市づくりが始まっています。

式典では、財務部を含む41の個人・団体が表彰され、地方自治、社会貢献、福祉、教育・文化、伝統芸能、産業・経済、一般公益の各分野で表彰が行われました。

表彰状授与に際しては、以下同文形式ではなく、地元読谷産の手漉芭蕉紙に読谷山花織をデザインしたオリジナルの表彰状に書かれた、受賞者それぞれで異なる表彰文を、安田慶造村長が丁寧に読み上げ、各受賞者の功績を称える様子が印象的でした。

式典後の祝賀会では、各受賞者は家族や友人らに囲まれ、晴れがましい笑顔で、なごやかなひと時を過ごしました。

また、村長から、最大の功労者として紹介された元財務部長の江口祐治氏（現造幣局総務部長）のメッセージも祝賀会の場で披露されました。



表彰状



跡地利用計画図（資料出所：読谷村）

開発建設部 平成20年度開発建設部所管優良業者等表彰式を開催

kaihatsukensetsu

7月16日沖縄総合事務局会議室において、「平成20年度開発建設部所管優良業者等表彰式」を開催しました。

本表彰は、平成20年度に完成したダム、道路、港湾、空港、公園及び官庁営

繕の各部門において、建設工事は1,000万円以上の契約件数295件の中から、測量・設計調査業務等については、500万円以上の契約件数289件の中から特に優秀な成績を収められた施工業者

及び技術者を表彰したものです。

竹澤局長は、挨拶の中で「厳しい経済社会情勢の中、それぞれの分野において、御熱心に仕事をしていただき、困難性の克服や創意工夫を行うことにより、優秀な成績を収めていただきました。その業績は他の模範となり、業界全体の技術力の向上に多大な貢献をされたものであり、その御努力に対して心から敬意を表します。」と述べて、表彰状を授与しました。



【受賞された皆様】

- ・優良施工工事部門 (7社)
- ・安全施工工事部門 (2社)
- ・優良業務部門 (5社)
- ・優秀工事技術者部門 (5名)
- ・優秀業務技術者部門 (2名)

運輸部 平成21年『海の月間』について

Unyubu

四方を海に囲まれている我が国は、輸出入貨物の大部分を海上輸送に頼るなど様々な形で海と深く関わって発展してきました。沖縄県も例外ではなく、琉球王国時代から海上交易を通して発展してきました。

「海の日」は、このような海の恩恵に感謝し、海を大切にする心を育むことを目的に平成8年に制定されました。

この「海の日」の意義を広く理解していただくため、7月を「海の月間」とし、

全国各地において多彩な行事が展開されました。管内においても「那覇観光キャンペーンレディによる一日船長」、「みなとフェスタ」、「ビーチのクリーンアップキャンペーン」、「中学生海の絵画コンクール」等の行事が行われました。

「ニューくめしま」の一日船長を務めた那覇観光キャンペーンレディの野崎涼子さんは「船の旅は私達に夢とロマンを与えてくれます。今後とも安全航海に努めていただき、明日を担うシーマンとし

て頑張ってください。」と、船員や関係者に向けてメッセージしました。

この他、「海事関係功労者表彰式」を23日、那覇市内のホテルで開催し、海運、港湾、優良船員、海洋環境保全関係者等23名を表彰しました。

また、同式典において「中学生海の絵画コンクール」受賞者への表彰式も行われ、沖縄総合事務局長表彰・金賞受賞の赤平有希菜さんをはじめ、10名の中学生が表彰されました。



野崎船長のメッセージ



新城船長&野崎船長



海事関係功労者表彰式